

2023 年度『在宅訪問栄養士研修会』開催要領

1 目的

団塊の世代が 75 歳を迎える 2025 年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進されている。栄養士としては在宅生活を継続できるように栄養関連問題について解決することが求められているが、県内での在宅訪問の実績は乏しいのが現状である。実践的な在宅訪問が出来る栄養士を育てることを目的として、今年度は在宅訪問専門の歯科医師から、生活の場で実際に行っている治療や口腔機能の状態を通して、食べること・食べるための機能を支える医療連携について講演いただき、後半は地域包括ケアシステムの構築部分への理解と「通いの場支援マニュアル（食事編）」を通じて多職種連携の強みが理解でき、実際に使用して講話ができる人材育成を目的とする。なお、この研修は『香川県介護従事者の確保に関する事業』の一環として行われるものである。

2 日時

令和 5 年 11 月 12 日（日） 10：40～16：10

3 場所

ふらっと仏生山 高松市仏生山交流センター 2F 会議室 22・研修室
〒761-8078 香川県高松市仏生山町甲 218 番地 1
TEL (087) 889-6555 FAX (087) 889-6554

4 対象

(公社)香川県栄養士会会員及び非会員 定員 60 名

5 内容

10:10～10:40 受付

10:40～12:10 講演「生活を支える医療を目指してー栄養士に伝えたい義歯の事・
口腔機能、嚥下機能の事ー」

(実務演習 1 単位) R,P,T, FS ,FG23-118

講師 医療法人社団駿陽花しもむら歯科医院 理事長 下村 隼人 氏

12:10～12:40 ランチョンセミナー 四国明治株式会社並びにハーバー研究所

13:00～14:30 講演『2025 年問題を前に、もう一度「地域包括ケアシステム構築」を
整理しよう香川県における地域包括ケアシステムの 1 例』

講師 香川県地域包括ケアシステム推進委員会 前田 匡史 氏

(実務講義 1 単位) P,T ,FS, FG412-105

14:40～16:10 講演『香川県地域包括ケアシステムにおける栄養士の役割
実際に「通いの場支援マニュアル」(食事編)』

講師 高松協同病院 リハ栄養指導士 岡野 幸代 氏

(実務講義 1 単位) P,FS, FG412-105

6 単位登録される方は登録料が必要です

- 7 申し込み 別紙申込書にて **11月6日(月)必着**で香川県栄養士会事務局へ下記必要事項を記載の上 E-mail にてお申し込みください。
(メールアドレスをお持ちで無い方は FAX での申し込みも可能です)

11月 12日 在宅訪問栄養士研修会に申込みます

香川県栄養士会事務局 FAX 087-811-2859 又は E-mail info@kagawa-eiyo.or.jp

職域名	医療 () 学校健康教育 () 勤労者支援 () 研究教育 () 公衆衛生 () 地域活動 () 福祉 ()
参加者氏名	
勤務先	施設名 : TEL : FAX : e-mail :
香川県栄養士会会員	() 会員 (会員番号 :) () 当日入会 【入会金 1000 円・会費 15000 円】
施設における課題	